平成２５年度 事務事業評価調書〔ハード事業〕

事務事業ｺｰﾄﾞ	23132009

平成２５年度作成

平成24年度実施事業

事務事業名	道路排水対策（雨水対策）事業

区　分	No	名　称					
章	2	自然とともに暮らすまち					
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり					
施策	1	総合防災体制の整備					
小分類	3	治山・治水対策の推進					
主要な施策	2	②治水事業の推進					
事務事業番号	009	事業開始年度	平成　23　年度	事業終了年度	平成　29　年度	会計種別	一般会計

部　名	都市整備部	グループ名	土木グループ

事務事業の概要　《Plan・Do》

目　的	（事務事業の実施目的を具体的に記入してください） 道路排水対策事業を行うことにより、大雨に伴う道路冠水による交通障害、宅面浸水等の被害防除を目的とする。
事業内容及び実績	（事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください） 「全体」 委託　基本計画作成1箇所、実施計画作成2箇所、実測実施設計16箇所 工事　対策工事21箇所、ポンプ設置工事4箇所、排水清掃1式 「平成24年度実施」 ◆事業費　152,867千円　　（地方債137,500千円　一般財源15,367千円） [内訳] ・平成24年度当初予算 ◆事業費　150,000千円　　（地方債135,000千円　一般財源15,000千円） 委託　実測実施設計6箇所 工事　対策工事5箇所、排水清掃1式 ・平成23年度からの繰越予算 ◆事業費　2,867千円　　（地方債2,500千円　一般財源367千円） 工事　対策工事1箇所
今後の方向性	（次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください） 大雨による道路冠水を軽減するため、平成23年度にとりまとめた、道路排水対策実施計画に基づき、継続して事業を進めていく。
根拠法令等	（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください） 道路法

事業費（財源内訳）の推移　《Plan・Do》

区　分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算見込	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円	23,386				
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円	140,900	137,500	143,500	182,800	149,500
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	48,476	15,367	31,800	46,200	42,500
事業費　合計			212,762	152,867	175,300	229,000	192,000

指標の推移　《Check》

区　分			単位	区分	23年度 実　績	24年度 実　績	25年度 目　標	26年度 目　標	27年度 目　標
成果指標	①	対策工事実施箇所	箇所	目標値		4	6	3	2
				実績値		4			
	②	ポンプ設置	箇所	目標値				1	1
				実績値					

比較（写真等）　《Check》

工事前	住所	新生町1丁目25番地先	工事後





担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可）　《Check》

1．事務事業の妥当性について

市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？

		判断理由及びその他所見
○	① 市が主体に行うべき事業である	市の排水整備に関すること、民間に類似した事務事業がないことから、市が事業主体として実施することが妥当である。
	② 民間（事業者、市民団体等）でも実施可能である	
	③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	

2．事務事業の必要性について

市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？

		判断理由及びその他所見
○	① 市民、団体等から具体的な要望がある	道路冠水地区の居住者および道路を通行する市民の財産等を守るため、降雨時における道路冠水の軽減を図り、安心・安全を確保する。
	② 市民アンケートの結果から必要性が高い	
	③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
○	④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	

3．事務事業の効率性について

事業内容とコスト（事業費）のバランスがよい効率性の高い事業ですか？

		判断理由及びその他所見
	① 低予算、少労力で高い効果をあげている	当該事業は本工事が主であり、工事の工種にコスト削減の要素がない。
	② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
○	③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	④ 将来的に効率性を向上できる	

4．事務事業の成果について

目的を達成するための成果はあがっていますか？

		判断理由及びその他所見
○	① 成果指標の向上が見られる	計画どおり事業が進んでおり、工事実施に伴う成果が確認されているため、引き続き道路排水対策工事を進めていく。
	② 市民、団体等の声から成果を感じられる	
○	③ 目に見える形で成果があがっている	
	④ 成果の把握は困難である	

①担当グループによる評価　《Check》

維　持

左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	本事業は道路排水の整備事業であり、道路排水対策実施計画の範囲を全て実施することにより、道路冠水の解消を実現し、市民の安心・安全を確保する。

②行政評価会議による評価　《Check》

維　持

備考	